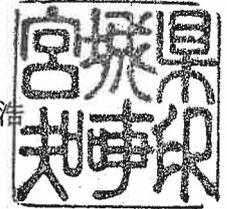


環 対 第 4 0 9 号
平成30年2月20日

株式会社レノバ代表取締役社長 殿

宮城県知事 村 井 嘉 浩



(仮称)石巻港バイオマス発電事業 環境影響評価方法書に対する意見
について (通知)

平成29年11月28日付けで送付のありましたこのことについて、環境影響評価
条例(平成10年宮城県条例第9号)第27条第1項の規定による環境保全の見地か
らの意見については、別紙のとおりです。

担当 : 環境生活部 環境対策課
環境影響評価班 藤村
電話 : 022-211-2667
FAX : 022-211-2696

(仮称) 石巻港バイオマス発電事業 環境影響評価方法書に対する意見

本事業は、貴社が、仙台塩釜港石巻港区の工業用地において、木質ペレット等を燃料とする出力74,950kWのバイオマス発電事業を実施しようとするものである。

宮城県環境基本計画（平成28年3月策定）では、「豊かで美しい自然とともに、健やかで快適な暮らしが次世代で受け継がれる県土」、「持続可能な社会の実現に向けて地域社会を構成するすべての人が行動する地域社会」を目指すべき将来像と設定し、低炭素社会、循環型社会及び自然共生社会の形成などを政策の柱として掲げ、施策については、各分野の個別計画により推進している。

このうち、低炭素社会の形成に向けた個別計画となる宮城県地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（平成26年1月策定）では、県内の未利用エネルギーである木質バイオマスの多角的利用を推進するほか、事業者は、環境に配慮した経営を推進する役割と責務を担うこととしている。

しかしながら、現在県内では、近年の電力システム改革を背景とした小規模火力発電所の集積等が進むことにより、微小粒子状物質（PM2.5）をはじめとした大気汚染物質などによる地域への累積的な環境影響が懸念されるところである。

本事業を実施するに当たっては、これらの計画等を踏まえ、環境への負荷が少ない持続的な社会の実現に向け、地域の未利用材の活用推進や施設稼働時の環境保全措置について、より一層の努力が求められるところである。

このため、貴社においては、方法書の記載事項はもとより、以下に述べる事項に十分留意した上で、適切に環境影響評価を実施するとともに、事業計画が環境影響評価の手の過程で変更が生じた場合についても、その経緯及び結果を踏まえ環境影響評価準備書を作成すること。

1 全般的事項

- (1) 本事業では、主要な発電用燃料として、海外から輸入する木質ペレットを使用することとしているが、地域の持続可能な環境保全を考える視点から、県内をはじめ、東北地域の未利用材の燃料の受け入れに関しても具体的な検討を行い、事業計画に反映すること。
- (2) 環境影響評価の予測については、対象事業実施区域周辺で先行して稼働予定の発電所等との累積的影響も含め、可能な限り定量的な手法を用いるとともに、現地調査等を行うに当たっては、必要に応じて選定した項目及び手法等を見直すなど適切に対応すること。
- (3) 対象事業実施区域周辺の地域住民、地元自治体及び関係者に対して、環境影響に関する情報を積極的に提供するとともに、理解を得ながら事業を進めること。

2 個別的事項

(1) 騒音

タービンや空冷式復水器等の設備機器による影響に留意し、音源設定を適切に行った上で予測及び評価すること。

(2) 悪臭

イ 現地調査において、海風が吹いた時の影響が想定される上釜地区、下釜地区に調査地点を追加するなど、適切な配置となるよう見直すこと。

ロ 燃料について、保管状況等により臭気の発生が懸念されることから、適切な防止措置について検討すること。

(3) 水質

現地調査において、排水による影響の程度を適切に把握するため、排水口近傍での調査地点を設定すること。また、調査項目については、概況調査で行っている項目について実施すること。

(4) 動物

対象事業実施区域及びその周辺で希少な猛禽類等が生息している場合は、工事中における配慮が必要なことから、生息状況の現地調査を実施し、環境影響評価項目の選定について検討すること。

(5) 廃棄物等

バイオマス発電により発生する燃焼灰等について、減量化及び再生利用などの行程を明示すること。

(6) 温室効果ガス等

イ 海外から輸入するパーム椰子殻について、熱帯林保全の観点から、現地において、環境に配慮して生産されたものであることを確認した上で燃料を使用すること。

ロ 温室効果ガスの排出量について、木質ペレットやパーム椰子殻を輸入する際の船舶等の運航なども含め、効率的な輸送手段を検討した上で、ライフサイクルの考え方を基本に予測及び評価すること。

(7) 放射線の量

東北地域の未利用材を燃料として使用する場合は、放射線の量を確認すること。